

ソフトマテリアルの劣化メカニズム解析と長寿命化手法

主催：日本ゴム協会研究部会 環境劣化研究分科会

協賛：日本化学会，高分子学会，自動車技術会，石油学会，繊維学会，日本機械学会，日本接着学会，

日本合成樹脂技術協会，日本材料学会，日本トライボロジー学会，日本レオロジー学会，日本複合材料学会，
プラスチック成形加工学会，マテリアルライフ学会（順不同）

ソフトマテリアルはそのユニークな特性を活かして，インフラ，工業製品から，レジャー，日用品に至るまで重要な役割を担っています。一方で，過酷化する使用環境では，耐久性向上や製品寿命の延長が要求されます。本シンポジウムでは，ソフトマテリアルの劣化メカニズム解析，新規エラストマーによる高機能化，環境負荷を配慮したゴム薬品による耐久性向上手法，また自動車用ゴム部品の長寿命化について，各分野の第一人者から最近の話題を提供いたします。

日時：2017年2月6日（月） 午前9時50分～午後4時50分

場所：東京電業会館 地下ホール 東京都港区元赤坂1-7-8 TEL 03 (3403) 5181(代)

受講料：日本ゴム協会会員・協賛団体会員23,760円 日本ゴム協会学生会員5,400円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも，ご所属の会社が法人としてゴム協会会員（賛助会員）の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受け付けます。

シニア制度対象会員 11,880円（60歳以上の正会員）会員外 32,400円

申込方法：弊会ホームページ <http://www.srij.or.jp/> よりお申込みください。（定員80名）

送金方法：銀行振込（三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会）。振込み手数料は受講者側でご負担ください。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。開催日が近づきましたら，開催のご案内を発送いたします。

問合せ先：一般社団法人 日本ゴム協会 第232回ゴム技術シンポジウム係

（〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階

TEL 03 (3401) 2957 FAX 03 (3401) 4143 E-mail : komatsu@srij.or.jp)

	演 題（一部仮題目）	講 師・座 長
9:50～9:55	開会のあいさつ	環境劣化研究分科会主査 藤井 信彦
10:00～10:55	ゴム・プラスチック材料の劣化反応とラジカル種の解析 ゴムやプラスチック材料の劣化反応に関する基礎的な知見を解説するとともに，反応の途中で生じるラジカル中間体について，電子スピン共鳴法（ESR）を用いた分析事例を説明する。	【座長】（一財）化学物質評価研究機構 大武 義人 京都工芸繊維大学 坂井 互氏
11:00～11:55	熱劣化の基礎（仮題）	早稲田大学 伊藤 政幸氏
12:50～13:45	新規スチレン系熱可塑性エラストマー	【座長】（公財）鉄道総合技術研究所 伊藤 幹彌 デンカ株 熊谷 雄志氏
13:50～14:45	環境影響を考慮したゴム配合 環境や動植物に影響を与える可能性のあるゴム薬品とその対策について紹介する。	大内新興化学工業株 有我 望氏
14:50～15:45	ワイパーブレードラバーの寿命（仮題）	【座長】デンカ株 藤井 信彦 株フコク 大迫 弘明氏
15:50～16:45	未定	（一財）化学物質評価研究機構 大武 義人氏
16:50～	閉会のあいさつ	環境劣化研究分科会副主査 伊藤 幹彌

※プログラムは一部変更になる場合がございます。

☆お申込みはホームページ <http://www.srij.or.jp/> からお願いします。